科目名称：	油画・日本画演習Ⅱ	
担当者名：	本山二郎・北川由希恵・山下和子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8

授業の目的・テーマ

洋の東西を問わず絵画芸術の伝統の中から、現代を表現するにふさわしい技法を実践的に学ぶⅡ。2年前期では描写力、構成力、発想力を一層強化するとともに、より専門的な技法の修得を目指す。油画では古典絵画の研究でグリザイユやグラッシーなどの技法研究、マチエール・メディウム研究など。日本画では小下図から本画への展開、岩絵具・絹本・箔の扱いなどを通して表現技法の幅を広げる。また、人物モデル制作では人体表現を学び、表現の応用力を身につける。

授業の達成目標・到達目標

油画と日本画の専門用具の扱い方とそれぞれの表現方法への理解を深めて研究し、更なる技術の修得が出来ることを目標とする。また、自己表現の課題を探究し、積極的な制作活動を行う。

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)			80	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業への参加	課題の内容を理解して積極的に研究活動に取り組む	課題の内容を理解して興味を持って取り組む	課題の内容を理解できるように努力する	課題への理解と興味が低く、意欲的な取り組みが不足
表現方法の熟達	画材の特性を理解し、表現方法に見合った使い方を工夫できる	画材の特性と適切な表現方法を理解し、使い方に工夫を試みる	画材の特性と表現の方法に理解を深める	画材への理解が低く、表現に活用する方法への工夫の不足
研究する姿勢	自己の興味を表現に昇華する方法を模索し、積極的に制作する	自己の興味に気付き、制作として表現できるように工夫する	自己の興味を制作に表現できる方法を模索する	制作として自己の興味を表現する方法を探究出来ていない
作品の完成度	画材の特性を駆使して高い表現技術で自己の課題を表現する	画材に習熟し表現技術が秀で、自己の課題探究が表現される	画材特性を理解し、自己の表現方法への試みが表現される	画材理解と自己の表現探究が不足し、制作が迷走する

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１週	油画選択者　：グリザイユ実習① 日本画選択者：小下絵制作①	油：古典技法について調べる　日：1年次の制作活動を振り返り、課題研究する	40分
第２週	油画選択者　：グリザイユ実習② 日本画選択者：小下絵制作②	前週の制作の続きとなり、ポイントを押さえて制作が出来ているか確認すること	300分
第３週	油画選択者　：グリザイユ実習③（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ） 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)①	油：完成までのプロセスを確認する 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第４週	油画選択者　：油画エスキース制作、発想方法① 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)②	油：図書館での参考資料を研究 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第５週	油画選択者　：５０号大作制作実習① 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)③	油：制作計画とテーマの掘り下げ 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第６週	油画選択者　：５０号大作制作実習② 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)④	油：制作計画とのテーマを掘り下げ 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第７週	油画選択者　：５０号大作制作実習③ 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑤	完成に向けたポイントを整理すること 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第８週	油画選択者　：模写実習① 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑥	油：図書館で事前に資料を研究する 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第９週	油画選択者　：模写実習② 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑦	油：作品の技法や素材資料を研究する 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第１０週	油画選択者　：美術モデル制作実習① 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑧	油：人物表現の研究 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第１１週	油画選択者　：美術モデル制作実習② 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑨	油：人物表現の研究 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第１２週	油画選択者　：美術モデル制作実習③ 日本画選択者：本画制作(合計100号程度)⑩	油：人物表現の研究 日：制作ﾌﾟﾛｾｽの構築と素材表現研究	300分
第１３週	油画選択者　：美術モデル制作実習④ 日本画選択者：絹本着彩①	油：人物表現の研究 日：和紙と絹の違いを理解し画材研究	300分
第１４週	油画選択者　：夏季課題100号制作実習① 日本画選択者：絹本着彩②	油：大作制作に向け、エスキース準備 日：和紙と絹の違いを理解し画材研究	300分
第１５週	油画選択者　：夏季課題制作実習②、版画実習 日本画選択者：絹本着彩③ オーディションでのプレゼンテーション	油：大作制作プロセスの構築 日：和紙と絹の違いを理解し画材研究	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、制作段階での課題を整理し、次回までの制作プロセスを組み立ててまとめること。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

全課題提出を原則とし、提出課題の良否およびオーディション審査[５月・７月]において評価する。
（８０％程度)、課題への積極的な制作活動、問題解決への取り組みを評価として勘案する。（２０％）

課題に対してのフィードバック

学習成果は『学習評価シート』によってフィードバックする。また、展覧会やコンクールなどへの作品発表活動に参加し、制作の意義と到達度を自ら実感する機会を設ける。

教科書・参考書

教科書は使用しない。必要な資料等は、授業の中で随時紹介する。